

病院食について：一般食

■ 常菜食・軟菜食

入院治療に当たり、特別治療食を食べる必要のない方には一般食が提供されます。

「一般食」は「日本人の食事摂取基準」(※)に基づいた成分を満たすようにバランスを考慮して献立を作成しています。

「主食・主菜・副菜」が基本の形



主食：ご飯・パン・麺などの炭水化物を多く含む食品

主菜：肉・魚・卵・大豆製品・乳類などたんぱく質を多く含む食品

副菜：野菜を中心としたビタミン・ミネラル・食物繊維を含む食品

■ 高血圧食

入院治療に当たり、特別治療食を食べる必要のない方には一般食が提供されます。

「高血圧食」は一般食の中でも、特に塩分を1日6g未満に抑えています。

「主食・主菜・副菜」が基本の形



主食：ご飯・パン・麺などの炭水化物を多く含む食品

主菜：肉・魚・卵・大豆製品・乳類などたんぱく質を多く含む食品

副菜：野菜を中心としたビタミン・ミネラル・食物繊維を含む食品
漬物は提供せず、汁物の提供頻度を調整しています

■ マザー・妊婦食

入院治療に当たり、特別治療食を食べる必要のない方には一般食が提供されます。

「一般食」は「日本人の食事摂取基準」に基づいた成分を満たすようにバランスを考慮して献立作成しています。

※マザー食には野菜物を中心とした一品が付いています。



主食：ご飯・パン・麺などの炭水化物を多く含む食品

主菜：肉・魚・卵・大豆製品・乳類などたんぱく質を多く含む食品

副菜：野菜を中心としたビタミン・ミネラル・食物繊維を含む食品

■ 幼児食

入院治療に当たり、特別治療食を食べる必要のない方には一般食が提供されます。

「幼児食」は一般食の中でも、1～2歳・3歳・5歳と年齢別に必要な量やバランスを調整して作成しています。

「主食・主菜・副菜」が基本の形



主食：ご飯・パン・麺などの炭水化物を多く含む食品

主菜：肉・魚・卵・大豆製品・乳類などたんぱく質を多く含む食品

副菜：野菜を中心としたビタミン・ミネラル・食物繊維を含む食品